

「児童館における遊びのプログラム等に関する調査研究」 アンケート調査結果 【未定稿】

1. 調査概要

対 象	全国の児童館 4,453 館（令和元年10月1日現在）
配布方法	・全国児童館連絡協議会を通じて、各都道府県児童館連絡協議会に依頼（2,504 館） ・都道府県児童館連絡協議会がない場合は、都道府県・政令指定都市を通じて市町村に依頼
実施期間	令和2年10月8日（木）～12月16日（水）
回答方法	ウェブ、メール、ファクス、郵送
回答数（回答率）	1,837 件（41.3%）

2. 運営状況

（1）令和2年3月から5月末頃（緊急期間）の運営・活動の状況（複数選択）

n=1,837

	回答数	割合
休館したが、館内の清掃や施設整備等は実施していた	1,099	59.8%
行事や定例プログラム等、活動の一部を中止した	658	35.8%
利用できる部屋、人数、時間等を制限した	452	24.6%
休館したが、地域の子どもたちや保護者に向けての活動は継続していた	362	19.7%
休館して、一切の活動を取りやめた	201	10.9%
通常通り運営した	119	6.5%
その他	359	19.5%

「休館したが、館内の清掃や施設整備等は実施していた」が59.8%で最も多い。「休館して、一切の活動を取りやめた」が10.9%、「通常通り運営した」は6.5%であった。

「その他」（19.5%）には、「休館したが、学童クラブのみ運営した」が多くあった。

(2) 児童館の事業の実施状況

「本来」（コロナ禍以前に）取り組んでいた活動と、「緊急期間」及び「緊急期間以降」に取り組んだ活動
n=1,837

	本来		緊急期間		緊急期間以降	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
① 遊びによる子どもの育成	1,663	90.5%	277	15.1%	1,508	82.1%
② 子どもの居場所の提供						
（ア）小学生の自由来館	1,670	90.9%	126	6.9%	1,486	80.9%
（イ）中・高校生世代の利用	1,556	84.7%	86	4.7%	1,360	74.0%
③ 子どもが意見を述べる場の提供	1,277	69.5%	157	8.5%	1,062	57.8%
④ 配慮を必要とする子どもへの対応	1,470	80.0%	280	15.2%	1,354	73.7%
⑤ 子育て支援の実施						
（ア）親子の交流の場の提供	1,554	84.6%	74	4.0%	1,393	75.8%
（イ）乳幼児親子向けプログラムの実施	1,437	78.2%	51	2.8%	1,222	66.5%
（ウ）乳幼児と中・高校生世代等の 触れ合い体験の実施	749	40.8%	7	0.4%	231	12.6%
（エ）子育てに関する相談対応	1,437	78.2%	411	22.4%	1,336	72.7%
⑥ 地域の健全育成の環境づくり	1,372	74.7%	154	8.4%	1,059	57.6%
⑦ ボランティア等の育成と活動支援	1,174	63.9%	35	1.9%	756	41.2%
⑧ 放課後児童クラブの実施	866	47.1%	616	33.5%	794	43.2%

※ ①～⑦は自由来館児童や保護者対象の活動。（放課後児童クラブは非該当）

※ 館外活動やオンラインでの取組も含む

「本来」（コロナ禍以前）は、「小学生の自由来館」（90.9%）と「遊びによる子どもの育成」（90.5%）が約 9 割であった。「緊急期間」の活動は全体的に少ないものの、「放課後児童クラブの実施」（33.5%）、「子育てに関する相談対応」（22.4%）があった。「緊急期間以降」は、「遊びによる子どもの育成」（82.1%）と「小学生の自由来館」（80.9%）が 8 割まで回復している。

3. 運営継続の判断

(1) 緊急期間及び緊急期間以降の意志決定者（複数選択）

n=1,837

	児童館主管課		児童館運営組織		児童館長		児童館職員	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
開館、休館	1,597	86.9%	108	5.9%	75	4.1%	6	0.3%
行事等の中止、実施	1,111	60.5%	386	21.0%	457	24.9%	105	5.7%
部屋、時間、人数等の制限	924	50.3%	297	16.2%	638	34.7%	203	11.1%

※児童館運営組織とは、社会福祉協議会、事業団、株式会社、NPO等、児童館を運営する組織のこと

「開館、休館」は「児童館主管課」が86.9%、「行事等の中止、実施」は「児童館主管課」が60.5%で最も多い。「部屋、時間、人数等の制限」は「児童館主管課」が50.3%、「児童館長」が34.7%であった。

(2) マニュアル等の効果や予定

緊急期間中「(あって) 有効だった)」ものや、「(なくて) 必要だった)」もの。また、今後準備する計画の有無。(複数選択)

n=1,837

	有効だった		必要だった		計画がある	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
感染症対策を含めた緊急時のマニュアル	1,064	57.9%	522	28.4%	131	7.1%
自治体のBCP	539	29.3%	559	30.4%	155	8.4%
個々の児童館単位のBCP	389	21.2%	737	40.1%	162	8.8%
児童館同士の情報交換	1,215	66.1%	362	19.7%	43	2.3%

※ BCPとは、災害時における事業継続計画 (Business Continuity Planning)

「有効だった」ものは、「児童館同士の情報交換」が66.1%で最も多く、次いで「感染症対策を含めた緊急時のマニュアル」が57.9%だった。「必要だった」ものは、「個々の児童館単位のBCP」が40.1%で最も多い。「計画がある」は、いずれも1割以下と低い回答であった。

他に「(あって) 有効だった」ものは、「児童健全育成財団が作成したガイドライン」や「オンライン環境」、「(なくて) 必要だった」ものは、「他機関との連携・情報共有」「正確な情報」「マスク・消毒用アルコール」などがあつた。

4. 感染予防に配慮した活動やプログラム

(1) 来館をともなわない遊びの提供(複数選択)

n=1,837

	回答数	割合
図書や遊具等の貸出し	382	20.8%
工作材料等をセットにして「遊びキット」として配布	328	17.9%
既存の工作レシピや料理レシピ、家庭でできる遊び等をオンラインで紹介	244	13.3%
職員が遊び紹介動画を作成しオンラインで配信	221	12.0%
子どもの遊びの参考になるようなインターネットサイトの紹介	193	10.5%
地域の公園等を巡回し、出前児童館を実施	82	4.5%
Zoom 等を活用して、リアルタイムで小学生・保護者を対象としたプログラムを実施	19	1.0%
Zoom 等を活用して、リアルタイムで乳幼児・保護者を対象としたプログラムを実施	18	1.0%
保護者や地域の協力を得て動画を作成しオンラインで配信	17	0.9%
Zoom 等を活用して、リアルタイムで中・高校生世代を対象としたプログラムを実施	6	0.3%

「図書や遊具等の貸出し」が20.8%、次いで「工作材料等をセットにして「遊びキット」として配布」が17.9%であった。その他に、「遊びなどをお便りで配布」などがあった。

(2) コロナ禍で新たに作り出された遊びのプログラム(複数選択)

n=1,837

	回答数	割合
既存のプログラムを改変した	699	38.1%
新しく作った遊びのプログラムがあった	281	15.3%
子どもが新たに作った遊びのプログラムがある	66	3.6%
新たに作り出された遊びのプログラムはない	582	31.7%

※オンラインのプログラムも可

「既存のプログラムを改変した」が38.1%で最も多く、次いで「新しく作った遊びのプログラムがあった」が15.3%だった。一方、「新たに作り出された遊びのプログラムはない」は31.7%だった。

(3) 子ども・子育て家庭の支援(複数選択)

n=1,837

	回答数	割合
人数や時間を制限して、児童館で親子のつどいの広場を開設した	513	27.9%
地域の子ども・子育て家庭の状況について、民生・児童委員や主任児童委員と情報交換した	392	21.3%
電話や SNS 等を活用した相談窓口を設けた	291	15.8%
来館経験のある子どもや保護者に連絡し、様子を聞いたり、相談に応じたりした	284	15.5%
地域を巡回して、公園等にいる子育て中の親子に声掛けした	150	8.2%
地域の子育てサークル等を対象として、出前児童館を実施した	34	1.9%
オンライン上で親子のつどいの会を開催した	17	0.9%

「人数や時間を制限して、児童館で親子のつどいの広場を開設した」が 27.9%、「地域の子ども・子育て家庭の状況について、民生・児童委員や主任児童委員と情報交換した」が 21.3%であった。

(4) 放課後児童クラブ・保育所等への支援 (複数選択)

n=1,837

	回答数	割合
児童館職員が、放課後児童クラブにスタッフとして支援に入った	716	39.0%
集会室や図書室等、児童館の諸室を活用して、放課後児童クラブの活動を支援した	601	32.7%
児童館職員が、放課後児童クラブを巡回して遊びのプログラムを提供した	130	7.1%
児童館職員が、その他の施設等にスタッフとして支援に入った	53	2.9%
児童館職員が、保育所にスタッフとして支援に入った	48	2.6%

「児童館職員が、放課後児童クラブにスタッフとして支援に入った」が 39.0%で最も多く、次いで「集会室や図書室等、児童館の諸室を活用して、放課後児童クラブの活動を支援した」が 32.7%であった。